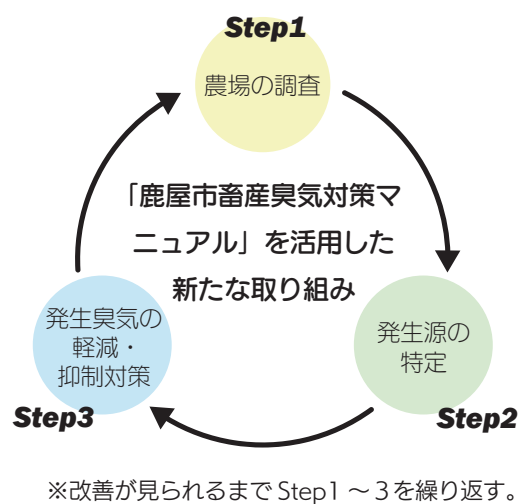




「鹿屋市畜産臭気対策マニュアル」は、臭気メカニズムや日常管理における臭気対策、苦情対応フローまでを整理したものです。今後は、臭気対策をより強化するために本マニュアルを基にした「畜産農家とともに進める環境対策」を実施していきます。

新たな畜産臭気対策では、これまでの取り組みを継続するとともに、①調査、②発生源の特定、③発生臭気の軽減・抑制対策の3つをサイクルで実施します。

また、簡易臭気測定器を活用した調査、環境保全台帳の作成などを行っていきます。これにより臭いを「見える化」し、場所・時間・方向等を考慮した具体的な対策を実施します。

## 市と農家による新たな畜産臭気対策

# 畜産臭気対策の取り組み

## 気象条件による臭気への影響



地域特有の風向き（鹿屋市は北北東から東北東）を常に意識し、風下への配慮を徹底しましょう。



## 新たな臭気対策の取り組み (畜産事業者への支援)



臭気吸着メッシュの配布  
臭気吸着メッシュ（アンモニアメッシュ）を臭気発生源や境界に設置して臭気発生源を遮蔽する。



消臭資材の配布  
EM 菌等をふん尿溜、原水槽、堆肥などに噴霧する。

### 農場での調査

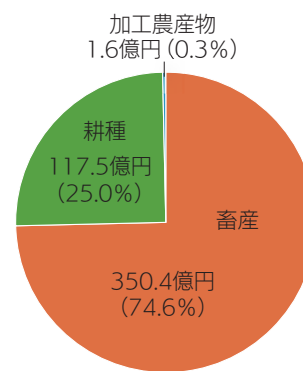
より精度の高い臭気対策を実施するため、畜産事業者に対し、農場等における聞き取りや臭気測定調査などを実施します。



▲簡易臭気測定器

## 畜産振興と臭気問題

本市は県内有数の畜産地帯であり、畜産業は地域の重要な基幹産業として発展してきました。肉用牛・乳用牛・養豚においては、県内で1位の飼養頭数を誇り、市の令和5年度農業産出額約470億円のうち、約75%の約350億円が畜産により産出されています。



▲鹿屋市農業産出額

出典：農林水産省令和5年「市町村別農業産出額（推計）」

一方で、近年は畜産地帯における宅地や商業施設等の混住化により、臭気に関する苦情も寄せられており、令和4～5年度にかけて行った苦情調査では、寄せられた苦情の約6～7割が堆肥や液肥の散布に由来する臭気でした。

そこで、畜産農家とともに環境を守るため、「鹿屋市畜産臭気対策マニュアル」を作成しました。

## これまでの取り組み

### 畜産環境パトロール

定期的な巡回による状況確認の実施



### 水質検査

ふん尿処理施設である浄化槽の放流水の水質検査



### 臭気資材による対策

臭気吸着メッシュやEM菌等の消臭資材の配布



### 畜産環境対策の啓発

畜産農家へ畜産環境対策のチラシを配布等

